

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月3日 (2016.3.3)

【公開番号】特開2013-39356(P2013-39356A)

【公開日】平成25年2月28日 (2013.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-010

【出願番号】特願2012-158900(P2012-158900)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月18日 (2016.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報の可変表示が開始されてから識別情報の表示結果が導出されるまでに、前記有利状態に制御されることを予告する複数の予告演出を実行可能な予告演出実行手段と、

前記予告演出実行手段により実行可能な複数の予告演出のうち第 1 予告演出を選択する第 1 予告演出選択手段と、

前記第 1 予告演出選択手段により選択された前記第 1 予告演出と予め対応付けられた第 1 予告特定用データを設定する第 1 予告特定用データ設定手段と、

前記第 1 予告特定用データ設定手段により設定された第 1 予告特定用データに基づいて、前記予告演出実行手段により実行可能な複数の予告演出のうち第 2 予告演出を選択する第 2 予告演出選択手段と、

第 1 予告禁止条件が成立したときに、前記予告演出実行手段による前記第 1 予告演出の実行を禁止する第 1 予告演出禁止手段とを備え、

前記第 1 予告演出禁止手段により前記第 1 予告演出の実行が禁止されるときでも、前記第 1 予告演出選択手段は前記第 1 予告演出を選択して、当該第 1 予告演出に基づいて、前記第 2 予告演出選択手段は前記第 2 予告演出を選択し、

前記第 1 予告演出選択手段は、互いに演出態様が異なる複数の所定予告演出のうちいずれかを前記第 1 予告演出として選択可能であり、

前記複数の所定予告演出はそれぞれ、予め定められた複数の予告演出種別のうちいずれかに含まれ、

前記第 1 予告特定用データ設定手段は、前記第 1 予告演出選択手段により前記第 1 予告演出として選択された所定予告演出が含まれる予告演出種別ごとに、異なるデータを前記第 1 予告特定用データとして設定する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0001】

本発明は、パチンコ遊技機等の遊技機に係り、詳しくは、識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機に関する。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

(1) 上記目的を達成するため、本願の請求項に係る遊技機は、識別情報（例えば特別図柄や飾り図柄など）の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1など）であって、識別情報の可変表示が開始されてから識別情報の表示結果が導出されるまでに、前記有利状態に制御されることを予告する複数の予告演出を実行可能な予告演出実行手段（例えばステップS464の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記予告演出実行手段により実行可能な複数の予告演出のうち第1予告演出（例えば変動開始時予告、全図柄変動中予告、図柄減速時予告、リーチ成立後予告のいずれかなど）を選択する第1予告演出選択手段（例えばステップS503～S505、S509の処理のいずれかを実行する演出制御用CPU120など）と、前記第1予告演出選択手段により選択された前記第1予告演出と予め対応付けられた第1予告特定用データ（例えば変動開始時予告のカテゴリ情報など）を設定する第1予告特定用データ設定手段（例えばステップS602の処理を実行する演出制御用CPU120など）と、前記第1予告特定用データ設定手段により設定された第1予告特定用データに基づいて、前記予告演出実行手段により実行可能な複数の予告演出のうち第2予告演出（例えば全図柄変動中予告、図柄減速時予告、リーチ成立後予告、リーチ発展時予告のいずれかなど）を選択する第2予告演出選択手段（例えばステップS504、S505、S509、S513の処理のいずれかを実行する演出制御用CPU120など）と、第1予告禁止条件が成立したときに、前記予告演出実行手段による前記第1予告演出の実行を禁止する第1予告演出禁止手段（例えばステップS462におけるYesの判定に基づいて、ステップS463、S464の処理を実行しない演出制御用CPU120など）とを備え、前記第1予告演出禁止手段により前記第1予告演出の実行が禁止されるときでも、前記第1予告演出選択手段は前記第1予告演出を選択して、当該第1予告演出に基づいて、前記第2予告演出選択手段は前記第2予告演出を選択し（例えばステップS503～S505、S509の処理は、変動パターンなどに基づくステップS462における判定結果にかかわらず実行される部分など）、前記第1予告演出選択手段は、互いに演出態様が異なる複数の所定予告演出のうちいずれかを前記第1予告演出として選択可能であり、前記複数の所定予告演出はそれぞれ、予め定められた複数の予告演出種別のうちいずれかに含まれ、前記第1予告特定用データ設定手段は、前記第1予告演出選択手段により前記第1予告演出として選択された所定予告演出が含まれる予告演出種別ごとに、異なるデータを前記第1予告特定用データとして設定する。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

## 【補正の内容】

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(2) 上記(1)の遊技機において、前記予告演出実行手段は、識別情報の可変表示が開始されてから識別情報の表示結果が導出されるまでに、所定の第1タイミング（例えば全図柄変動中のタイミングなど）にて前記第1予告演出（例えば全図柄変動中予告など）を実行可能であるとともに、前記第1タイミングよりも遅い第2タイミング（例えば図柄減速時のタイミングなど）にて前記第2予告演出（例えば図柄減速時予告など）を実行可能であり（例えばステップS503～S505、S509、S513、S515の各処理における予告決定結果に対応して、ステップS433にて決定された予告演出制御パターンに基づきステップS464の処理を実行することにより、図14に示すような各種の予告演出を実行する）、前記第1予告演出選択手段は、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第1所定段階予告演出のうちいずれかを前記第1予告演出として選択する第1段階予告選択手段（例えばステップS504の全図柄変動中予告決定処理を実行する演出制御用CPU120など）を含み、前記第2予告演出選択手段は、互いに異なる演出態様に対応して前記有利状態となる可能性の段階を異ならせた複数の第2所定段階予告演出のうちいずれかを前記第2予告演出として選択する第2段階予告選択手段（例えばステップS505の図柄減速時予告決定処理を実行する演出制御用CPU120など）を含み、前記第2段階予告選択手段は、前記第1段階予告選択手段により前記複数の第1所定段階予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が第1通常段階よりも高い第1特定段階に対応した特定演出態様の第1特定段階予告演出が前記第1予告演出として選択された場合に、前記複数の第2所定段階予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が第2特定段階よりも低い第2通常段階に対応した通常演出態様の第2通常段階予告演出を前記第2予告演出として選択しないまたは選択しにくいようにしてもよい（例えばステップS504、S505の処理により決定される予告演出には、全図柄変動中予告が高信頼度で図柄減速時予告が低信頼度となるものが含まれていない）。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

このような構成においては、複数のタイミングのうち所定の第1タイミングにて有利状態となる可能性が第1通常段階よりも高い第1特定段階に対応した特定演出態様の第1特定予告演出が実行可能となる場合に、第1タイミングよりも遅い第2タイミングにて有利状態となる可能性が第2特定段階よりも低い第2通常段階に対応した通常演出態様の第2通常予告演出が実行されないまたは実行されにくい。これにより、第1タイミングにて先に実行された第1予告演出により遊技者が一旦抱いた有利状態への期待感が、第2タイミングにて後に実行される第2予告演出によって損なわれてしまうことを防止して、遊技の興趣を向上させることができる。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(3) 上記(2)の遊技機において、前記複数の第2所定段階予告演出のうちで前記

有利状態となる可能性が最も高い第2最高段階に対応した第2最高段階予告演出は、前記複数の第1所定段階予告演出のうちで前記有利状態となる可能性が最も高い第1最高段階に対応した第1最高段階予告演出に比べて、前記有利状態となる可能性がより高いことを予告してもよい（例えばステップS503、S504にて決定される予告演出には、低信頼度または中信頼度の変動開始時予告と、低信頼度または中信頼度または高信頼度の全図柄変動中予告とが含まれている）。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

このような構成において、後に実行される第2予告演出により予告可能な有利状態となる可能性が最も高い段階は、先に実行される第1予告演出における最も高い段階よりも高くなる。これにより、遊技者の期待感を徐々に高めて遊技の興趣を向上させることができる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

（4） 上記（2）または（3）のいずれかの遊技機において、前記第2予告演出選択手段は、前記複数の第1所定段階予告演出により予告可能な前記有利状態となる可能性の段階数よりも、前記複数の第2所定段階予告演出により予告可能な前記有利状態となる可能性の段階数が多くなるように（例えばステップS503、S504にて決定される予告演出には、低信頼度または中信頼度の変動開始時予告と、低信頼度または中信頼度または高信頼度の全図柄変動中予告とが含まれている）、前記第2予告演出を選択してもよい。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

このような構成においては、後に実行される第2予告演出により予告可能な有利状態となる可能性の段階数が、先に実行される第1予告演出よりも多くなる。これにより、先に実行された第1予告演出に応じて実行可能な第2予告演出が減少してしまうことを防止して、遊技の興趣を向上させることができる。